

S&P 500[®] 月例レポート (2025年1月配信)

S&P500月例レポートでは、S&P500の値動きから米国マーケットの動向を解説します。市場全体のトレンドだけではなく、業種、さらには個別銘柄レベルでの分析を行い、米国マーケットの現状を掘り下げて説明します。

S&Pダウ・ジョーンズが提供する指数に関する詳細はこちらをご覧ください。

(日本語サイト)

<https://www.spglobal.com/spdji/jp/>

S&P 500 月例レポート
執筆者



ハワード・シルバブラット
S&Pダウ・ジョーンズ・
インデックス
シニア・インデックス・アナリスト
howard.silverblatt@spdji.com

THE S&P 500 MARKET: 2024年12月

個人的見解: 「70歳だったあの頃は、とても良い年だった」 (<https://www.youtube.com/watch?v=a9LHD8hlj98>)

69歳だったあの頃は、とても良い年だった (2023年のS&P500指数のトータルリターンはプラス26.29%)
マグニフィセント・セブンにとって、とても良い年だった (マグニフィセント・セブンを除いたS&P500指数の上昇率は9.94%)

株価は日々上昇し続けた、69歳だったあの頃は…
70歳だったあの頃は、とても良い年だった (2024年のS&P500指数のトータルリターンはプラス25.02%)
マグニフィセント・セブンにとって、とても良い年だった (マグニフィセント・セブンを除いたS&P500指数の上昇率は11.75%)

株価は日々上昇し続けた、70歳だったあの頃は…
(2年間の累計では、S&P500指数のトータルリターンはプラス57.88%、マグニフィセント・セブンを除いた上昇率は24.35%)

71歳だったあの頃は…

2023年はとても困難な年となり、2024年はもっと厳しい年でしたが、どちらも投資家には報いてくれました (少なくとも大型株投資家やビットコイン投資家は利益を得ました)。S&P500指数は2023年に24.23%、2024年に23.31%上昇し、2年間の累計では53.19%上昇となりました。値上がり銘柄数が値下がり銘柄数を上回り (指数の騰落率が示唆するほどの力強さはありませんでしたが)、2024年は332銘柄が上昇、169銘柄が下落

2023 年は 322 銘柄が上昇、179 銘柄が下落、2 年間では 353 銘柄が上昇、146 銘柄が下落しました。もちろん、今さら 2022 年の話をしたくはないでしょうが、2022 年に S&P500 指数は 19.44% 下落し、上昇したのはわずか 139 銘柄で、363 銘柄が下落しました。3 年間の累計では、S&P500 指数は 23.40% 上昇（年率換算で 7.26% 上昇）、274 銘柄が上昇、224 銘柄が下落し（生存者バイアスがかかっています）、そのうち 117 銘柄は 3 年間で 20% 以上の下落となりました。合計すると、S&P500 指数の時価総額は 2024 年に 9 兆 7,600 億ドル増加し（2023 年は 7 兆 9,100 億ドル増加、2022 年は 8 兆 2,300 億ドル減少）、さらに配当として総額 6,300 億ドル（過去最高）が投資家に支払われました（2023 年は 5,880 億ドル、2022 年は 5,650 億ドル。株価が低迷する年でも配当は支払われます）。

代替投資では、石油価格は 1 バレル=71.75 ドルで年を終えました（2023 年末は同 71.31 ドル、2022 年末は同 80.45 ドル）。金価格は 1 トロイオンス=2,638.40 ドルで年を終えました（同 2,073.60 ドル、同 1,829.80 ドル）。VIX 恐怖指数は 17.42 で年を終えました（同 21.57、同 17.22）。ビットコインは 93,417 ドルで年を終えました（同 42,265 ドル、同 16,548 ドル）。金利を見ると、米国 10 年国債利回りは 4.58% で年を終えました（同 3.88%、同 3.88%）。米国 30 年国債利回りは 4.78% で年を終えました（同 4.04%、同 3.97%）。その他の主な参考指標として、フェデラルファンド（FF）金利は 4.50% で年を終えました（同 5.50%、同 4.50%）。ガソリン価格（EIA による全等級）は 1 ガロン=3.128 ドルで年を終えました（同 3.238 ドル、同 3.203 ドル）。

マグニフィセント・セブンに関しては、インデックスファンドを含め、どのような形であれ投資していなかったとしたら、ビットコインに投資しておくべきだったかもしれません。マグニフィセント・セブンは 2024 年の S&P500 指数のトータルリターンの 53.1% を占めました。マグニフィセント・セブンを除くと、S&P500 指数のトータルリターンはプラス 25.02% ではなくプラス 11.75% になります。11 月 5 日の米大統領選以降のトータルリターンもプラス 1.95% からマイナス 0.35% に低下します。2023 年のトータルリターンはプラス 26.29% からプラス 9.94% に低下し、2 年間の累計では S&P500 指数のトータルリターンはプラス 57.88%、マグニフィセント・セブンを除くとプラス 24.35% となります。それでも、年率ではプラス 11.5% となり、1926 年以降の長期の年率トータルリターンのプラス 10.5% を上

回ります（ただし、筆者が S&P に入社した 1977 年以降の年率リターンのプラス 12.0%には届きません）。

セクター別では、マグニフィセント・セブンが含まれるセクターが好調で、2024 年に最も好調だったのはコミュニケーションサービス（Alphabet と Meta が含まれます）で 38.89%上昇（2021 年末以降では 27.73%上昇）、次いで情報技術（Apple、Microsoft、NVIDIA が含まれます）が 35.69%上昇（同 50.86%上昇）、一般消費財（Amazon、Tesla が含まれます）が 29.13%上昇（同 13.68%上昇）しました。金融セクターにはマグニフィセント・セブン銘柄は含まれませんが、2024 年は 28.43%上昇し（同 23.75%上昇）、公益事業も 19.58%上昇（同 5.84%上昇）しました。最もパフォーマンスが悪かったのは素材セクターで、2024 年は 1.83%下落と、唯一下落したセクターとなりました（同 7.00%下落）。

インデックスの動き

- 12 月の株式市場は力強いスタートを切り、1 週目に史上最高値を 4 回更新しましたが、その後に下落しました。マグニフィセント・セブンが市場を牽引し、全体では値下がり銘柄数が値上がり銘柄数を上回りました。ダウ・ジョーンズ工業株価平均（ダウ平均）も終値で 45,000 ドルを突破して過去最高値を 1 回更新しましたが（45,014.04 ドル、最高値更新は 2024 年に 48 回目）、やはりその後に下落し、1974 年 10 月以来となる 10 営業日続落を記録しました。
 - 12 月に S&P500 指数は 2.50%と大幅に下落しました（配当込みのトータルリターンはマイナス 2.38%）。11 月は 5.73%上昇（同プラス 5.87%）、10 月は 0.99%下落（同マイナス 0.91%）でした。
 - 過去 3 カ月間（2024 年第 4 四半期）の S&P500 指数の騰落率は 2.07%の上昇となりました（同プラス 2.41%）。
 - 2024 年通年では、S&P500 指数は 23.31%上昇しました（同プラス 25.02%）。2023 年は 24.23%上昇（同プラス 26.29%）、2022 年は 19.44%下落（同マイナス 18.11%）でした。
 - 12 月は値上がり銘柄数が減少し、値下がり銘柄数を大幅に下回り、値上がり銘柄がわずか 54 銘柄だったのに対し、449 銘柄が値下がりしました（11 月は 385 銘柄が値上がり、118 銘柄が値下がり、10 月は 199 銘柄が値上がり、304 銘柄が値下がり）。
 - 12 月は 21 営業日のうち 9 営業日で上昇しました（11 月は 20 営業日のうち 15 営業日で上昇、年間では 252 営業日のうち 143 営業日で上昇）。5 営業

日で1%以上変動し、そのうち2営業日が上昇、3営業日が下落（1営業日は2.95%下落）でした。これに対して11月は3営業日で1%以上変動し、そのうち2営業日が上昇（1営業日は2%超上昇）、1営業日が下落でした。2024年通間では50営業日で1%以上変動しました（31営業日で上昇し、そのうち3営業日で2%以上上昇、19営業日で下落し、そのうち4営業日で2%以上下落）。

- 11セクターのうち、3セクターが上昇しました（11月は11セクターすべてが上昇）。
- S&P500 指数の時価総額は12月に1兆2,240億ドル減少して（11月は2兆7,930億ドル増加）、49兆8,050億ドルとなりました。年間では9兆7,660億ドル増加しました。2023年は7兆9,060億ドルの増加、2022年は8兆2,240億ドルの減少でした。
- ダウ平均は、12月に終値での最高値を1回更新し（年初来では48回）、終値で45,000ドルを突破しました（終値の最高値は45,014.04ドル、取引時間中の最高値は45,074.63ドル）。なお、11月は4回、10月は7回、9月は7回、8月は4回、7月は3回、最高値を更新しています。ダウ平均は12月に5.27%下落して（配当込みのトータルリターンはマイナス5.13%）42,544.22ドルで月を終えました。11月は7.54%上昇して（同プラス7.74%）44,910.65ドル、10月は1.34%下落して（同マイナス1.26%）41,763.46ドルでした。過去3カ月（2024年第4四半期）では0.51%上昇（同プラス0.93%）、2024年通年では12.88%上昇（同プラス14.99%）となっています。2023年は13.70%の上昇（同プラス16.18%）、2022年は8.78%の下落（同マイナス6.86%）でした。
- **12月の日中ボラティリティ**（日中の値幅を安値で除して算出）は、0.91%と11月の0.83%から上昇しました（10月は0.81%）。2024年通年は0.91%、2023年は1.04%、2022年は1.83%、2021年は0.97%、2020年は1.51%でした（長期平均は1.42%）。
- **12月の出来高**は、11月に前月比17%増加した後に、同3%減少し（営業日数調整後）、前年同月比では1%増加となりました。2024年通年では前年比2%減少しています。2023年は同1%減で、2022年は同6%増でした。
- **12月**は1%以上変動した日数は21営業日中5日（上昇が2日、下落が3日）、2%以上変動した日が1日（下落）ありました。11月は1%以上変動した日数は20営業日中3日（上昇が2日、下落が1日）、2%以上変動した日が1日（上昇）ありました。2024年通年では、1%以上変動した日数は50日（上昇が31日、下落が19日）で、2%以上変動した日数は7日（上昇が3日、下落が4日）でした。2023年は、1%以上変動した日数が250営業日中63日（上昇が37日、下落が26日）、2%以上変動した日数が2日（上昇が1日、下落が1日）でした。12月は

21 営業日中 7 日で日中の変動率が 1%以上となり、2%以上となった日は 2 日、3%以上となった日は 1 日ありました。対して 11 月は 1%以上の変動が 20 営業日中 6 日で、2%以上となった日はありませんでした。2024 年通年では 1%以上の変動が 83 日、2%以上の変動が 11 日でした。2023 年は 1%以上の変動が 113 日、2%以上の変動が 13 日、3%以上の変動はありませんでした（直近で 3%以上の変動があったのは 2022 年 11 月 30 日）。2022 年は 1%以上の変動が 219 日、2%以上の変動が 89 日、3%以上の変動が 20 日でした（4%以上の変動が 4 日、5%以上の変動が 1 日）。

過去の実績を見ると、12 月は 72.9%の確率で上昇し、上昇した月の平均上昇率は 2.95%、下落した月の平均下落率は 3.19%、全体の平均騰落率は 1.31%の上昇となっています。2024 年 12 月の S&P500 指数は 2.50%の下落でした。

1 月は 61.9%の確率で上昇し、上昇した月の平均上昇率は 4.19%、下落した月の平均下落率は 3.81%、全体の平均騰落率は 1.19%の上昇となっています。

今後の米連邦公開市場委員会 FOMC のスケジュールは、2025 年は 1 月 28 日-29 日、3 月 18 日-19 日、5 月 6 日-7 日、6 月 17 日-18 日、7 月 29 日-30 日、9 月 16 日-17 日、10 月 28 日-29 日、12 月 9 日-10 日となっています。

● 主なポイント

- 12 月の株式市場は、第 1 週こそ大統領選挙後のラリーの継続と力強い資金流入を背景に、4 回にわたり終値での最高値を更新しましたが、結局 S&P500 指数は 2.50%下落して月を終えました（配当込みのトータルリターンはマイナス 2.38%）。11 月は 5.73%上昇（同プラス 5.87%）、10 月は 0.99%下落（同マイナス 0.91%）、9 月は 2.02%上昇（同プラス 2.14%）、8 月は 2.28%上昇（同プラス 2.43%）、7 月は辛うじて 1.13%上昇（同プラス 1.22%）、6 月と 5 月はそれぞれ 3.47%上昇（同プラス 3.59%）、4.80%上昇（同プラス 4.96%）と、力強い上昇を見せていました。2024 年第 4 四半期は 2.07%上昇（同プラス 2.41%）、2024 年通年では 23.31%上昇（同プラス 25.02%）しました。
 - 12 月はマグニフィセント・セブンのパフォーマンスが S&P500 指数に極めて大きな影響を及ぼしました。指数の 12 月騰落率がマイナスだったにもかかわらず、これら 7 銘柄は全体で上昇しました。具体的には、12 月の S&P500 指数のトータルリターンはマイナス 2.38%でしたが、マグニフィセント・セブンを除くと、リターンはマイナス 3.49%となっていたはずですが、11 月 5 日の大統領選挙後の指数のトータルリターンはプラス 1.95%でしたが、7 銘柄を除くと、マイナス 0.35%となります。2024 年通

年の指数のリターンに占める 7 銘柄の割合は 53.1% となり、7 銘柄を除く、トータルリターンはプラス 25.02% からプラス 11.75% に低下します。

○ 12 月の主なデータ

- 12 月に入っても S&P 500 指数が最高値を更新する流れは続きました（12 月の更新回数は 4 回）が、こうした月初めの上昇基調は金利に対する警戒感によって中断されました（現時点での市場関係者の 2025 年の予想利下げ回数は従来の 4 回から 2 回に低下）。通常の資産配分の見直しの影響もあり、12 月に S&P500 指数は 2.50% 下落しました。11 月は全面高の展開で 5.73% 上昇、10 月は 0.99% 下落、それ以前は 5 カ月連続で指数は上昇していました。具体的には、9 月が 2.02%、8 月が 2.28%、7 月が 1.13%、6 月が 3.47%、5 月が 4.80% 上昇でした。12 月は 21 営業日のうち 9 営業日で上昇し（11 月は 20 営業日のうち 15 営業日で上昇）、値上がり銘柄数が減少し、値下がり銘柄数を大幅に下回りました。値上がり銘柄数が 54 銘柄であったのに対し、値下がり銘柄数は 449 銘柄となりました。11 月は値上がり銘柄数が 385 銘柄であったのに対し、値下がり銘柄数は 118 銘柄でした。10 月は値上がり銘柄数が 199 銘柄であったのに対し、値下がり銘柄数は 304 銘柄でした。12 月の出来高は前月比 1% 減、前年同月比では 2% 増となりました。
- ✓ 12 月は 11 セクターのうち 3 セクターが上昇しました。11 月は 11 セクター全てが上昇し、10 月は 3 セクターが上昇しました。12 月のパフォーマンスが最高となったのはコミュニケーションサービスで 3.49% 上昇しました（2024 年は 38.89% 上昇、2021 年末比では 27.73% 上昇）。パフォーマンスが最低だったのは素材で、10.91% 下落しました（同 1.83% 下落、同 7.00% 下落）。
- S&P 500 指数は 12 月に 2.50% 下落（配当込みのトータルリターンはマイナス 2.38%）して、5,881.63 で月を終えました。11 月は 5.73% 上昇（同プラス 5.87%）して 6,032.38、10 月は 0.99% 下落（同マイナス 0.91%）して 5,705.45 でした。2024 年第 4 四半期の 3 カ月間では 2.07% 上昇（同プラス 2.41%）、2024 年通年では 23.31% 上昇（同プラス 25.02%）となりました。2023 年通年は 24.23% 上昇（同プラス 26.29%）、2022 年は 19.44% 下落（同マイナス 18.11%）でした。
- ✓ 12 月の S&P 500 指数は、11 月の終値を割り込むことなくスタートし、第 1 週に最高値を 4 回更新しました（取引時間中の最高値は 6,099.97、終値最高値は 6,090.27）。11 月は 6 回最高値を更新（いずれも 11 月 5 日の大統領選挙後）、10 月は 4 回、9 月は 5 回、8 月は 0 回、7 月は 7 回、6 月も 7 回過去最高値を更新しました（5 月は 2 回、4 月は 0 回、3 月は 8 回、2 月は 8 回、1 月は 6 回）。年初来での最高値更新回数は 57

回となりました。2023年は0回、2022年は1回、2021年は70回でした（過去最高は1995年の77回）。

- ✓ コロナ危機前に付けた2020年2月19日の高値からは73.70%上昇（同プラス87.50%）となっています。
- 米国10年国債利回りは11月末の4.18%から4.58%に上昇して月を終えました（2023年末は3.88%、2022年末も3.88%、2021年末は1.51%、2020年末は0.92%、2019年末は1.92%、2018年末は2.69%、2017年末は2.41%）。30年国債利回りは11月末の4.36%から4.78%に上昇して取引を終えました（同4.04%、同3.97%、同1.91%、同1.65%、同2.30%、同3.02%、同3.05%）。
- 英ポンドは11月末の1ポンド=1.2731ドルから1.2520ドルに下落し（同1.2742ドル、同1.2099ドル、同1.3525ドル、同1.3673ドル、同1.3253ドル、同1.2754ドル、同1.3498ドル）、ユーロは11月末の1ユーロ=1.0574ドルから1.0360ドルに下落しました（同1.0838ドル、同1.0703ドル、同1.1379ドル、同1.2182ドル、同1.1172ドル、同1.1461ドル、同1.2000ドル）。円（対米ドル）は11月末の1ドル=149.66円から157.32円に下落し（同141.02円、同132.21円、同115.08円、同103.24円、同108.76円、同109.58円、同112.68円）、人民元は11月末の1ドル=7.2428元から7.2979元に下落しました（同7.1132元、同6.9683元、同6.3599元、同6.6994元、同6.9633元、同6.8785元、同6.5030元）。
- 12月末の原油価格は4.6%上昇し、11月末の1バレル=68.61ドルから同71.75ドルとなりました（2023年末は同71.31ドル、2022年末は同80.45ドル）。米国のガソリン価格（EIAによる全等級）は12月に1.2%下落し、1ガロン=3.128ドルとなりました（11月末は3.166ドル、2023年末は同3.238ドル、2022年末は同3.203ドル、2021年末は同3.375ドル）。2020年末から原油価格は48.2%上昇し（2020年末は1バレル=48.42ドル）、ガソリン価格は34.2%上昇しました（2020年末は1ガロン=2.330ドル）。
 - 2024年11月時点のEIAの報告によると、ガソリン価格の内訳は、56%が原油、19%が販売・マーケティング費、9%が精製コスト、17%が税金となっています。
- 金価格は11月末の1トロイオンス=2,682.70ドルから下落し、2,638.40ドルで12月の取引を終えました（2023年末は2,073.60ドル、2022年末は1,829.80ドル、2021年末は1,901.60ドル、2020年末は1,520.00ドル、2019年末は1,284.70ドル、2018年末は1,305.00ドル）。
- VIX恐怖指数は11月末の13.51から17.42に上昇して12月を終えました。月中の最高は28.32、最低は12.70でした（2022年末は21.67、2021年末は17.22、2020年末は22.75、2019年末は13.78、2018年末は16.12）。
 - 同指数の2024年の最高は75.73、最低は10.62でした。

- 同指数の 2023 年の最高は 30.81、最低は 11.81 でした。
 - 同指数の 2022 年の最高は 38.89、最低は 16.34 でした。
 - 同指数の 2021 年の最高は 37.51、最低は 14.10 でした。
 - 同指数の 2020 年の最高は 85.47、最低は 11.75 でした。
- 目標株価は引き続き上昇しています。S&P500 指数に対する市場関係者の 1 年後の目標株価は 2023 年 11 月末時点から 13 カ月連続で上昇し、現在値から 14.1%上昇の 6,709 となっています（11 月末時点では 9.0%上昇の 6,576、10 月末時点では 6,394）。それ以前の目標値は、9 カ月連続の低下から 11 カ月連続の上昇を経て、2023 年 11 月まで 2 カ月連続で低下していました。ダウ平均の目標株価も 3 カ月連続の上昇から 2 カ月連続の低下を経て、11 月まで 13 カ月連続して上昇し、12 月末時点では現在値 から 13.0%上昇の 48,092 ドルとなっています（11 月末時点では 5.0%上昇の 47,165 ドル、10 月末時点では、45,704 ドル）。

● 米国経済

- 11 月の製造業購買担当者景気指数（PMI）は 49.7 となり、10 月の 48.5 から上昇しました。事前予想は 48.8 でした。
- 11 月の ISM 製造業景気指数は 48.4 となり、10 月の 46.5 から上昇しました。事前予想は 47.6 でした。同指数は 8 カ月連続で景気の縮小を示すとされる水準（50 を下回る）で推移しています。
- 11 月のサービス業 PMI は 56.1 となりました。事前予想は 57.0 でした。10 月は速報値の 55.0 から 57.0 に上方修正されました。
- 11 月の ISM 非製造業景気指数は、10 月の 56.0 から低下して 52.1 となりました。事前予想は 55.5 でした。
- 12 月の PMI 速報値は、製造業が 48.3 となり、11 月の 49.7 から低下しました。サービス業は 58.5 となり、11 月の 56.1 から上昇しました。
- 11 月の消費者物価指数（CPI）は予想通り前月比 0.3%上昇しました。前年同月比では 2.7%上昇（10 月は同 2.6%上昇）となりました。食品とエネルギーを除いたコア CPI は、予想通りに前月比では 0.3%上昇、前年同月比では 10 月と同じ 3.3%上昇となりました。
- 11 月の生産者物価指数（PPI）は事前予想の前月比 0.3%上昇に対し、同 0.4%上昇しました（10 月は同 0.2%上昇）。前年同月比では事前予想の 2.6%に対し、同 3.0%上昇しました（10 月は同 2.2%上昇）。コア PPI は、予想通り前月比 0.2%上昇しました（10 月は同 0.3%上昇）。前年同月比では事前予想の 3.2%上昇に対し同 3.4%上昇と、10 月の同 3.1%上昇から加速しました。
- 11 月の個人所得は前月比 0.3%増（事前予想は同 0.4%増）、個人消費支出は同 0.4%増（事前予想は同 0.5%増）となりました。個人消費支出（PCE）価格指数は

前月比 0.1%上昇、前年同月比では 2.4%上昇と、10月の同 2.3%上昇から加速しました。

- 2024年第3四半期のGDP成長率確報値は、事前予想が速報値と同じ前期比年率 2.8%だったのに対し、同 3.1%となりました。個人消費の確報値は事前予想が速報値と同じ 3.5%増だったのに対し、3.7%増となりました。
- 2024年第3四半期の企業利益確報値は前年同期比 9.2%増でした。
- 2024年第3四半期の労働生産性確報値は速報値と同じ前期比 2.2%上昇（年率換算）となりました。単位労働コスト確報値は同 0.8%上昇し、速報値の 1.9%上昇から低下しました。
- 11月の鉱工業生産指数は前月比 0.1%低下しました。事前予想は同 0.3%上昇でした。設備稼働率は 76.8%に低下しました。事前予想では10月の 77.0%から 77.3%に上昇すると見込まれていました。
- 10月の建設支出は、事前予想の前月比 0.2%増に対し、同 0.4%増となりました（9月は同 0.1%増）。10月の前年同月比は 5.0%増、また9月は当初発表の同 4.6%増から同 5.3%増に上方修正されました。
- 11月の自動車販売台数（年率換算）は 1,660万台となりました。このうち、北米で生産された自動車の販売台数は 1,280万台でした。
- 11月の小売売上高は前月比 0.7%増となりました。事前予想は同 0.5%増でした。10月は当初発表の同 0.4%増から同 0.5%増に上方修正されました。
- 10月の卸売在庫は事前予想の前月比 0.1%増に対し、同 0.2%増となりました（9月は同 0.2%減）。
 - 11月の卸売在庫の速報値は市場予想の前月比 0.1%増に対し、同 0.2%減となりました。
- 11月の小売在庫の速報値は前月比 0.3%増となりました。事前予想は同 0.1%増でした。10月は同 0.1%増でした。
- 10月の企業在庫は、事前予想の前月比 0.2%増に対し、同 0.1%増となりました。9月は当初発表の同 0.1%増から同変わらずに下方修正されました。
- 10月の製造業受注は市場予想が前月比 0.4%増だったのに対し、同 0.2%増となりました。9月は当初発表の同 0.5%減から同 0.2%減に上方修正されました。
- 11月の耐久財受注は事前予想の前月比 0.2%減に対し、同 1.1%減となりました。10月は当初発表の同 0.2%増から同 0.8%増に上方修正されました。
- 10月の貿易収支の赤字額は9月の 838億ドルから 738億ドルとなりました。
 - 11月の財の貿易収支の速報値は 1,029億ドルの赤字となりました。輸入は前月比 4.5%増（10月は同 5.5%減）、輸出は同 4.4%増（10月は同 3.1%減）でした。
- 11月の輸入物価指数は前月比 0.3%低下の予想に対し、同 0.1%上昇となりました。10月は当初発表の同 0.3%上昇から同 0.1%上昇に下方修正されました。前年

同月比では1.3%上昇で、10月の同0.8%上昇から加速しました。11月の輸出物価指数は市場予想の前月比0.1%低下に対し、前月比横ばいとなりました。10月は当初発表の同0.8%上昇から同1.0%上昇に上方修正されました。11月の前年同月比は0.9%上昇で、10月の同0.1%低下から加速しました。

- 12月のミシガン大学消費者信頼感指数の速報値は74.0となり、11月の71.8から上昇しました。1年先のインフレ期待は2.9%と、11月の2.6%から上昇しました。
 - 12月のミシガン大学消費者信頼感指数の確報値は市場予想通り74.0となりました。1年先のインフレ期待は2.8%となり、速報値の2.9%を下回りました。
- 民間調査機関コンファレンスボードが発表した12月の消費者信頼感指数は前月から上昇の113.0が見込まれていたのに対し、前月から大幅に低下して104.7となりました。11月は当初発表の111.7から112.8に上方修正されました。
- 11月の景気先行指数は市場予想の前月比0.1%低下に対して、同0.3%の上昇となりました。10月は同0.4%の低下でした。

● 雇用関係

- 10月のJOLTS（求人労働異動調査）によると、求人件数は774万4,000件となり、9月の737万2,000件（修正後）から増加しました。
- 11月のADP全米雇用統計では、民間部門雇用者数が市場予想の16万5,000人増に対し、14万6,000人増となりました。10月は当初発表の23万3,000人増から18万4,000人増に下方修正されました（当初の市場予想は11万5,000人増でした）。転職しなかった労働者の賃金上昇率は前年同月比4.8%、転職者の賃金上昇率は同7.2%でした。
- 11月の雇用統計では非農業部門雇用者数が市場予想の20万人増を上回る22万7,000人増となりました。天候や労働者のストライキにより大幅に予想を下振れた10月の非農業部門雇用者数（事前予想は12万5,000増）は、1万2,000人増から3万6,000人増に上方修正されました。
 - 11月の失業率は予想通り、10月の4.1%から4.2%に上昇しました（9月は4.1%、8月は4.2%、7月は4.3%、6月は4.1%、5月は4.0%、4月は3.9%、3月は3.8%、2月は3.9%、1月と2023年12月、11月は3.7%、10月は3.9%、9月は3.8%でした。2020年2月は3.5%でしたが、同年5月には13.3%となりました）。
 - 労働参加率は10月の62.6%から62.5%に低下しました（9月は62.7%、8月は62.7%、7月は62.7%、6月は62.6%、5月は62.5%、4月は62.7%、3月は62.7%、2月、1月と2023年12月は62.5%、11月は62.8%、10月は62.7%、9月は62.8%）。

- 11月の週平均労働時間は前月から増加して34.3時間となりました。10月は当初発表の34.3時間から34.2時間に下方修正されました（9月は34.2時間、8月は34.4時間、7月は34.2時間、6月は34.3時間、5月は34.3時間、4月は34.3時間、3月は34.4時間、2月は34.3時間、1月は34.2時間、2023年12月は34.3時間、11月は34.4時間、10月は34.3時間、9月は34.4時間）。
- 11月の平均時給は前月比0.3%増の予想に対し、同0.4%増（前月の35.46ドルから35.61ドルに増加）となりました。10月は同0.4%増でした（9月は同0.3%増、8月は同0.4%増、7月は同0.2%増、6月は同0.3%増、5月は同0.2%増、4月は同0.2%増、3月は同0.3%増、2月は同0.2%増、1月は同0.5%増）。前年同月比では、11月は4.0%増（事前予想は同3.9%増）、10月は同4.0%増でした（9月は同3.9%増、8月は同3.9%増、7月は同3.6%増、5月は同4.1%増、4月は同4.0%増、3月は同4.1%増、2月は同4.3%増、1月は同4.4%増）。
- 失業保険継続受給件数（季節調整済み）は、前月の190万7,000件から191万件に増加しました。
 - 週間新規失業保険申請件数（当初報告通り）：
 - ✓ 2024年12月5日発表の週間新規失業保険申請件数：22万4,000件
 - ✓ 2024年12月12日発表の週間新規失業保険申請件数：24万2,000件
 - ✓ 2024年12月19日発表の週間新規失業保険申請件数：22万件
 - ✓ 2024年12月26日発表の週間新規失業保険申請件数：21万9,000件

● 企業業績

- 2024年第3四半期の暫定結果（最終結果は来週にも明らかになる見込み）に基づく、営業利益と売上高は、ともに四半期での過去最高を更新する見通しで、営業利益率は11.80%と高水準で推移しています。将来の予想はこれまでの水準を維持しており、2025年末まで毎四半期で過去最高の更新が予想されています。
 - 暫定結果の段階で、決算発表を終えた498銘柄のうち、359銘柄（72.1%）で利益が予想を上回り、497銘柄中308銘柄（62.0%）で売上高が予想を上回っています。
 - 2024年第3四半期の営業利益は前期比で1.4%増、前年同期（不況だった2023年第3四半期）比では13.1%増となり、過去最高を更新しました。
 - 売上高は前期比で2.6%増となり、四半期での過去最高を更新する見込みで、前年同期比では7.0%増となっています。
 - 2024年第3四半期の営業利益率は2024年第2四半期の11.94%から低下する一方、2023年第3四半期の11.15%を上回り、11.80%となりました

(1993 年以降の平均は 8.46%、過去最高は 2021 年第 2 四半期の 13.54%)。

- 2024 年第 3 四半期中に株式数の減少によって EPS が大きく押し上げられた発表済みの銘柄の割合は 13.6%となっています。この割合は、2023 年第 2 四半期は 12.7%、2023 年第 3 四半期は 13.8%でした。
- 2024 年第 4 四半期については、決算期がずれている 19 銘柄が発表を終え、そのうち 15 銘柄で利益が予想を上回り、13 銘柄で売上高が予想を上回りました。2024 年第 4 四半期の営業利益は前期比 3.3%増と、四半期での過去最高を更新する見通しで、前年同期比では 13.4%増が見込まれます。
- 2024 年通年の利益は前年比 9.2%増が見込まれており、この予想に基づく 2024 年の予想株価収益率 (PER) は 25.2 倍となっています。
- 2025 年通年の利益は前年比 16.3%増が見込まれており、予想 PER は 21.7 倍となっています。

● 個別銘柄

- クラウドサービスを提供するオンライン小売企業 Amazon (AMZN) は、人工知能 (AI) 向けチップの新たなメガクラスター (米国で生産) が 2025 年に稼働予定であることを明らかにしました。
- 自動車大手 General Motors (GM) は、ほぼ完成済みの電気自動車バッテリー工場 (ミシガン州) への投資を韓国のパートナーである LG Energy Solution に売却すると発表しました。同社はまた、中国事業の再編と評価損による 50 億ドルの費用計上と、100 億ドルを投資したロボタクシープログラム (クルーズ) の中止を発表しました。
- S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスは、金融銘柄の Apollo Global Management (APO)、アプリケーションとソフトウェアソリューションを提供する Workday (WDAY)、資本財・サービス銘柄の Lennox International (LII) を S&P500 指数に採用し、半導体銘柄の Qorvo (QRVO)、金融銘柄の Amentum Holdings (AMTM)、ヘルスケア銘柄の Catalent (CTLT) を同指数から除外しました。

● 配当金

- S&P500 指数の 2024 年第 4 四半期と 2024 年通年の配当支払額が、四半期と通年の過去最高を更新しました。
- 2024 年 12 月の配当支払額は前年同月比 32.0%増となりました。11 月は同 11.0%減、10 月は同 16.2%増でした。2024 年第 4 四半期の配当支払額は前年同期比 7.8%増、前期比 6.0%増でした。2024 年通年の配当支払額は前年比 6.44%増でした (2023 年は同 5.05%増、2022 年は同 10.81%増)。

- 12月の配当支払金は前年同月の1株当たり5.39ドルから7.12ドルに増加しました。
- 2024年第4四半期の配当支払金は前年同期の1株当たり18.38ドルから19.81ドルに増加し、過去最高を更新しました。
- 2024年通年の配当支払金は前年の1株当たり70.30ドルから74.83ドルに増加し、過去最高を更新しました。
- 2024年12月は、増配が38件、配当開始が2件、減配が1件で、配当停止は0件でした。2023年12月は、増配が32件、配当開始が1件で、減配が1件、配当停止は0件でした。
 - 2024年は、増配が342件、配当開始が8件、減配が15件、配当停止が2件でした。
 - 2023年は、増配が348件、配当開始が11件、減配が26件、配当停止が4件でした。
 - 2022年は、増配が377件、配当開始が7件、減配が5件、配当停止が0件でした。
- 12月の増配率の中央値は、11月の7.14%から5.78%に低下しました。2024年通年では6.25%（11月末時点の年初来でも6.25%）となりました。12月の平均増配率は11月の7.52%から9.22%に上昇しました。2024年通年では8.31%（同8.20%。いずれも2倍以上になった銘柄は除く）となりました。2023年の年間の増配率の中央値は7.01%（2022年と2021年はともに8.33%）、平均値は8.68%（同11.80%、同11.76%）でした。
- 2024年通年の配当支払い額は前年比6.44%増加しました。これにより、S&P500指数の株主への実際の年間の現金配当は15年連続で増加し、13年連続で過去最高を更新しました。
 - 2025年に関しては、（これまでに）2024年の173億ドル相当の配当開始（Alphabet[GOOG]、Booking Holdings[BKNG]、Meta Platforms[META]、Salesforce[CRM]）と、68億ドル相当の配当停止（Intel[INTC]を含む）を考慮し、更にS&P500指数構成銘柄の各年の増配の傾向（過去20年間、各年で平均58.5%の企業が増配、対して3.3%の企業が減配）、足元と今後も予想される過去最高益、並びに金利の低下と雇用と基調的な経済成長の力強さを踏まえ、2025年の配当支払い額も過去最高を更新し、実際の1株当たり現金配当額は前年比8%程度増加すると予想します（2024年は前年比6.44%増、2023年は同5.05%増、2022年は同10.80%増）。

インデックス・レビュー

S&P 500 指数

12月のS&P500指数は力強い基調でスタートし、最初の週（取引時間中の最高値は6,099.97、終値での最高値は6,090.27）に終値での最高値を4回更新しました（年初来では57回で、S&P500指数の歴史の中で6番目に多い記録）。しかし、資産の再配分と、ある程度の旧来の利益確定の動きが生じるとともに、金利（およびFRBの追加利下げの回数）を巡る懸念が背後でくすぶる中、そこから下落に転じました。12月は値上がり銘柄数が減少し、値下がり銘柄数を大幅に下回りました。マグニフィセント・セブンが市場の下落を緩和し、リターンに大きく影響して相場を下支えたものの、S&P500指数は下落して12月を終えました。

12月にS&P500指数は2.50%と大幅に下落しました（配当込みのトータルリターンはマイナス2.38%）。11月は5.73%の大幅上昇（同プラス5.87%）、10月は0.99%下落（同マイナス0.91%）でした。2024年第4四半期の3カ月間のS&P500指数の騰落率は2.07%の上昇となりました（同プラス2.41%）。2024年通年では23.31%上昇（同プラス25.02%）しました。2023年は24.23%上昇（同プラス26.29%）、2022年は19.44%下落（同マイナス18.11%）でした。12月は値上がり銘柄数が減少し、値下がり銘柄数を大幅に下回りました。値上がり銘柄数は僅か54銘柄で、値下がり銘柄数は449銘柄でした（11月は値上がり銘柄数が385銘柄、値下がり銘柄数が118銘柄、10月は値上がり銘柄数が199銘柄、値下がり銘柄数が304銘柄）。12月は21営業日中9日で上昇しました（11月は20営業日中15日）。2024通年では252営業日中143日で上昇しました。12月の1%以上変動した日数は5日（上昇が2日、下落が3日で、1日で2.95%の下落を記録）と、11月の3日（上昇が2日、下落が1日で、1日で2%以上の上昇を記録）から増加し、2024年通年では1%以上変動した日数は50日（上昇が31日（3日で2%以上上昇）、下落が19日（4日で2%以上下落））となりました。

12月はマグニフィセント・セブンの影響力が大幅に強まりました。S&P500指数が下落したのに対して、これら7銘柄は全体で上昇しました。具体的には、12月のS&P500指数のマイナス2.38%のトータルリターンは、マグニフィセント・セブンを除くと、マイナス3.49%となります。2024年11月5日の米大統領選以降のS&P500指数のトータルリターンはプラス1.95%ですが、マグニフィセント・セブンを除くと、マイナス0.35%となります。また、2024年通年では、マグニフィセント・セブンがリターンの53.1%を占めており、これら7銘柄を除くと、プラス25.02%のトータルリターンはプラス11.75%まで低下します。

12月は11セクター中3セクターが上昇しました。11月は11セクター全てが上昇、10月は3セクターが上昇しました。12月のパフォーマンスが最高となったのはコミュニケーションサービスで、3.49%上昇しました（2024年通年では38.89%上昇、2021年末比では27.73%上昇）。パフォーマンスが最低だったのは素材で、10.91%下落しました（同1.83%下落、同7.00%下落）。12月は値上がり銘柄数が減少し、値下がり銘柄数を大幅に下回りました。12月の値上がり銘柄数は54銘柄（平均上昇率は5.19%）と、11月の385銘柄（同9.21%）から減少しました。10%以上上昇した銘柄数は10銘柄（同16.72%）と、11月の147銘柄（同15.28%）から減少し、1銘柄（11月は9銘柄）が25%以上上昇しました。一方、12月の値下がり銘柄数は449銘柄（平均下

落率は7.86%)と、11月の118銘柄(同4.39%)から増加しました。12月の10%以上下落した銘柄数は120銘柄(同13.64%)と11月の12銘柄(同17.20%)から増加し、2銘柄が25%以上下落しました(11月も2銘柄)。2024年通年では、11月末時点から値上がり銘柄数が減少しましたが、なお値下がり銘柄数を大幅に上回り、値上がり銘柄数が332銘柄(平均上昇率は28.17%)、値下がり銘柄数が169銘柄(平均下落率は16.07%)となりました。

12月の日中ボラティリティ(日中の値幅を安値で除して算出)は0.91%と、11月の0.83%から上昇(10月は0.81%)しました。2024年通年は0.91%で、2023年は1.04%、2022年は1.83%、2021年は0.97%、2020年は1.51%でした(長期平均は1.42%)。12月の出来高は、11月に前月比17%増加した後に、同3%減少し(営業日数調整後)、前年同月比では1%増加となりました。2024年通年では前年比2%減少しました。2023年通年では前年比1%減で、2022年通年では同6%増でした。12月は1%以上変動した日数は21営業日中5日(上昇が2日、下落が3日)で、市場は2%以上の変動を1日(下落)記録しました。11月は1%以上変動した日数は20営業日中3日(上昇が2日、下落が1日)、2%以上変動した日は1日(上昇)でした。2024年通年では、1%以上変動した日数は50日(上昇が31日、下落が19日)で、2%以上変動した日数は7日(上昇が3日、下落が4日)でした。2023年通年は、1%以上変動した日数が250営業日中63日(上昇が37日、下落が26日)、2%以上変動した日数が2日(上昇が1日、下落が1日)でした。12月は21営業日中7日で日中の変動率が1%以上となり、2日で日中の変動率が2%以上、1日で3%以上となりました。対して11月は1%以上の変動が20営業日中6日で、2%以上変動した日はありませんでした。2024年通年では1%以上の変動が83日、2%以上の変動が11日でした。2023年通年では1%以上の変動が113日、2%以上の変動が13日で、3%以上の変動はありませんでした(直近で3%以上の変動があったのは2022年11月30日)。2022年は1%以上の変動が219日、2%以上の変動が89日、3%以上の変動が20日でした(4%以上の変動が4日、5%以上の変動が1日)。

S&P 500 トータル・リターン：累積

	S&P 500	S&P MidCap 400	S&P SmallCap 600	S&P Composite 1500	ダウ平均
2024年 12月	-2.38%	-7.12%	-7.95%	-2.80%	-5.13%
2024年通年	25.02%	13.93%	8.70%	23.95%	14.99%
3カ月	2.41%	0.34%	-0.58%	2.22%	0.93%
6カ月	8.44%	7.31%	9.49%	8.40%	9.73%
12カ月	25.02%	13.93%	8.70%	23.95%	14.99%
3年	29.29%	15.33%	5.84%	27.87%	24.43%
5年	97.02%	63.54%	49.37%	93.67%	65.12%
10年	242.54%	151.96%	135.79%	233.22%	198.77%
15年	602.68%	441.63%	423.00%	588.39%	480.92%
20年	617.50%	536.20%	459.46%	612.40%	539.67%
25年	538.76%	903.49%	868.37%	575.00%	560.83%

S&P 500 トータル・リターン：年率

12カ月	25.02%	13.93%	8.70%	23.95%	14.99%
3年	8.94%	4.87%	1.91%	8.54%	7.56%
5年	14.53%	10.34%	8.36%	14.13%	10.55%
10年	13.10%	9.68%	8.96%	12.79%	11.57%
15年	13.88%	11.92%	11.66%	13.72%	12.45%
20年	10.35%	9.69%	8.99%	10.32%	9.72%
25年	7.70%	9.66%	9.51%	7.94%	7.85%

出所：S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス 2024年12月末現在。表は図示する目的のためだけのものです。過去の運用実績は将来の運用成果を保証するものではありません。

S&P 500 構成銘柄の騰落状況

上昇／下落	12月	平均パーセント	3カ月	平均パーセント	2024年通年	平均パーセント
		変化 (%)		変化 (%)		変化 (%)
上昇	54	5.19	206	11.44	332	28.17
下落	449	-7.86	297	-11.41	169	-16.07
10%以上の上昇	10	16.72	86	21.05	249	35.88
10%以上の下落	120	-13.64	152	-17.79	94	-24.91
25%以上の上昇	1	43.04	21	37.31	134	51.90
25%以上の下落	2	-27.94	23	-30.35	35	-37.18
50%以上の上昇	0	0.00	3	75.95	44	84.87
50%以上の下落	0	0.00	0	0.00	4	-59.50

出所：S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス 2024年12月末現在。表は図示する目的のためだけのものです。過去の運用実績は将来の運用成果を保証するものではありません。

S&P 500指数のセクター株値：2024年12月31日

S&P 500指数の株値変動	2024年通年		2021年未以降の時価総額	2024年		2020年		2016年		最高値以降	2022年		新型コロナ発生後の安値以降	2020年2月		12月	3か月		6か月	1年
	騰落率(%)	騰落率(%)		2023/3/8	2024/12/31	2020/11/3	2016/11/8	2024/12/31	2022/10/12		2020/3/23	2020/2/19		2024/11/29	2024/9/30		2024/6/28	2023/12/29		
エネルギー	2.31%	54.91%	\$498	1.27%	-5.48%	193.54%	28.28%	-5.25%	6.29%	261.73%	59.02%	-9.56%	-3.20%	-6.21%	2.31%					
素材	-1.83%	-7.00%	-\$92	2.84%	-10.05%	27.13%	78.80%	-8.11%	22.83%	119.21%	39.44%	-10.91%	-12.82%	-4.80%	-1.83%					
資本財サービス	15.64%	24.66%	\$923	29.18%	-3.00%	64.63%	121.90%	-5.92%	55.55%	170.75%	57.49%	-8.10%	-2.74%	8.11%	15.64%					
一般消費財	29.13%	13.68%	\$545	65.09%	11.81%	52.68%	192.54%	-3.33%	66.99%	156.52%	74.68%	2.33%	14.06%	22.72%	29.13%					
生活必需品	11.98%	6.10%	\$384	13.57%	-1.82%	29.26%	57.88%	-4.50%	21.11%	70.41%	28.94%	-5.24%	-3.84%	4.12%	11.98%					
ヘルスケア	0.90%	-2.38%	-\$336	9.18%	-6.85%	31.18%	103.27%	-4.40%	12.92%	84.24%	32.56%	-6.36%	-10.67%	-5.62%	0.90%					
金融	28.43%	23.75%	\$2,468	38.73%	3.61%	94.94%	142.48%	-3.87%	59.87%	174.03%	56.09%	-5.58%	6.67%	17.56%	28.43%					
情報技術	35.69%	50.86%	\$4,411	88.59%	3.70%	131.57%	476.49%	-2.16%	125.69%	271.92%	155.86%	1.12%	4.67%	6.18%	35.69%					
コミュニケーションサービス	38.89%	27.73%	\$569	92.90%	6.69%	71.25%	118.23%	-0.60%	112.29%	148.01%	77.05%	3.49%	8.60%	10.15%	38.89%					
公益事業	19.58%	5.84%	\$152	15.50%	-3.21%	17.11%	54.44%	-4.40%	23.23%	69.02%	8.38%	-8.07%	-6.17%	11.15%	19.58%					
不動産	1.73%	-21.19%	\$55	6.95%	-6.82%	16.14%	36.31%	-6.67%	20.06%	61.35%	0.05%	-9.15%	-8.75%	6.12%	1.73%					
S&P 500	23.31%	23.40%	\$9,449	47.33%	1.71%	74.57%	174.90%	-3.43%	64.43%	162.88%	73.70%	-2.50%	2.07%	7.71%	23.31%					
S&P 500のトータル・リターン	25.02%	29.29%		51.36%	1.95%	86.07%	216.81%	-3.34%	70.14%	183.18%	87.50%	-2.38%	2.41%	8.44%	25.02%					
S&P500の株値	5881.63	4766.18		3992.01	5782.76	3369.16	2139.56	6090.27	3577.03	2237.40	3386.15	6032.38	5762.48	5460.48	4769.83					
パフォーマンスが最高のセクター	38.89%	54.91%		92.90%	11.81%	193.54%	476.49%	-0.60%	125.69%	271.92%	155.86%	3.49%	14.06%	22.72%	38.89%					
パフォーマンスが最低のセクター	-1.83%	-21.19%		1.27%	-10.05%	16.14%	28.28%	-8.11%	6.29%	61.35%	0.05%	-10.91%	-12.82%	-6.21%	-1.83%					
パフォーマンスの差	40.71%	76.10%		91.63%	21.86%	177.40%	448.21%	7.52%	119.41%	210.57%	155.80%	14.39%	26.89%	28.93%	40.71%					

出所：S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス 2024年12月末現在。表は図示する目的のためだけのものです。過去の運用実績は将来の運用成果を保証するものではありません。

S&P 500騰落率ベスト10：2024年12月

ティッカー	会社名	12月	2024年 11月5日以降	2024年第4 四半期	2024年	2022年末 以降	2021年末 以降	2020年 11月3日以降	2020年 3月23日以降	2020年 2月19日以降	2000年 以降	セクター
AVGO	Broadcom Inc	43.04%	33.32%	34.40%	107.70%	314.64%	248.42%	555.36%	1098.33%	634.39%		情報技術
LULU	Lululemon Athletica inc	19.26%	19.79%	40.93%	-25.21%	19.36%	-2.31%	16.90%	121.94%	45.67%		一般消費財
TSLA	Tesla, Inc	17.00%	60.61%	54.36%	62.52%	227.85%	14.64%	185.80%	1294.80%	560.30%		一般消費財
TER	Teradyne Inc	14.47%	19.41%	-5.98%	16.03%	44.16%	-23.00%	40.18%	173.92%	85.23%	90.79%	情報技術
BA	Boeing Co	13.87%	17.22%	16.42%	-32.10%	-7.08%	-12.08%	15.20%	67.58%	-47.68%	327.14%	資本財サービス
PLTR	Palantir Technologies Inc. Class A	12.75%	47.92%	103.31%	340.48%	1078.04%	315.32%	620.29%				情報技術
ULTA	Ulta Beauty, Inc	12.49%	13.59%	11.77%	-11.24%	-7.28%	5.48%	99.94%	203.64%	46.51%		一般消費財
GOOGL	Alphabet Inc A	12.04%	11.52%	14.14%	35.51%	114.55%	30.69%	130.06%	259.16%	148.28%		コミュニケーションサービス
GOOG	Alphabet Inc C	11.70%	11.10%	13.91%	35.13%	114.63%	31.63%	130.81%	260.47%	149.48%		コミュニケーションサービス
VERI	VeriSign Inc	10.57%	15.52%	8.95%	0.49%	0.74%	-18.46%	8.07%	36.91%	-2.02%	8.39%	情報技術

S&P 500騰落率ワースト10：2024年12月（スピンオフ等の資本の変動は未調整）

ティッカー	会社名	12月	2024年 11月5日以降	2024年第4 四半期	2024年	2022年末 以降	2021年末 以降	2020年 11月3日以降	2020年 3月23日以降	2020年 2月19日以降	2000年 以降	セクター
TPL	Texas Pacific Land Corporation	-30.88%	-11.04%	25.00%	111.00%	41.53%	165.67%	585.53%	976.05%	329.25%	43200.24%	エネルギー
CVS	CVS Health Corporation	-25.00%	-18.88%	-28.61%	-43.15%	-51.83%	-56.49%	-24.49%	-15.45%	-37.46%	125.15%	ヘルスケア
NUE	Nucor Corp	-24.55%	-19.29%	-22.37%	-32.94%	-11.46%	2.24%	133.19%	310.66%	144.62%	751.71%	素材
BLDR	Builders FirstSource	-23.35%	-21.03%	-26.27%	-14.38%	120.30%	66.76%	337.36%	1185.34%	411.19%		資本財サービス
LEN	Lennar Corp A	-21.80%	-23.08%	-27.26%	-8.50%	50.69%	17.40%	83.37%	364.63%	93.60%	1578.40%	一般消費財
ODFL	Old Dominion Freight Line Inc	-21.65%	-14.79%	-11.20%	-12.96%	24.32%	-1.56%	78.06%	105.28%	56.77%	24821.63%	資本財サービス
STLD	Steel Dynamics Inc	-21.48%	-15.91%	-9.53%	-3.41%	16.76%	83.78%	252.94%	537.62%	291.59%	2762.93%	素材
ALB	Albemarle Corp	-20.07%	-13.73%	-9.11%	-40.42%	-60.31%	-63.18%	-11.82%	69.12%	-3.65%	348.63%	素材
NDSN	Nordson Corp	-19.83%	-17.42%	-20.33%	-20.79%	-11.98%	-18.03%	4.46%	110.38%	22.01%	1634.63%	資本財サービス
PHM	Pulte Group Inc	-19.49%	-18.28%	-24.13%	5.50%	139.18%	90.52%	152.38%	513.87%	133.94%	1836.00%	一般消費財

出所：S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス 2024年12月末現在。表は図示する目的のためだけのものです。過去の運用実績は将来の運用成果を保証するものではありません。

S&P500銘柄入れ替え

追加/除外	実施日	ティッカー	会社名	セクター	サブセクター	注
追加	12/20/2024	LII	Lennox International	資本財サービス	建設関連製品	S&P 中型株400指数から移行
除外	12/20/2024	CTLT	Catalent	ヘルスケア	医薬品	Novo Holdings (NVO) により買収
追加	12/20/2024	APO	Apollo Global Mgt	金融	各種金融サービス	S&P 1500指数に新たに追加
追加	12/20/2024	WDAY	Workday	情報技術	アプリケーション・ソフトウェア	S&P 1500指数に新たに追加
除外	12/20/2024	QRVO	Qorvo	資本財サービス	半導体	S&P 小型株600指数に移行
除外	12/20/2024	AMTM	Amentum Holdings	金融	調査・コンサルティングサービス	S&P 小型株600指数に移行
追加	11/25/2024	TPL	Texas Pacific Land	エネルギー	石油・ガス探査・生産	S&P 中型株400指数から移行
除外	11/25/2024	MRO	Marathon Oil	エネルギー	石油・ガス探査・生産	ConocoPhillips (COP) により買収
追加	9/27/2024	AMTM	Amentum Holdings	資本財・サービス	調査・コンサルティングサービス	Jacob's Solution (J) からスピンオフ後、非上場企業と合併
除外	9/30/2024	BBWI	Bath & Body Works	一般消費財	その他専門小売り	S&P 小型株600指数に移行
追加	9/20/2024	PLTR	Palantir Technologies	情報技術	アプリケーション・ソフトウェア	S&P 1500指数に新たに追加
追加	9/20/2024	DELL	Dell Technologies	情報技術	テクノロジーハードウェア、コンピュータ記憶装置、周辺機器	S&P 1500指数に新たに追加
追加	9/20/2024	ERIE	Erie Indemnity	金融	輸送保険、損害保険	S&P 中型株400指数から移行
除外	9/20/2024	AAL	American Airlines Group	資本財・サービス	旅客航空輸送	S&P 中型株400指数に追加
除外	9/20/2024	ETSY	Etsy Inc	一般消費財	大規模小売り	S&P 小型株600指数に追加
除外	9/20/2024	BIO	Bio-Rad Laboratories In	ヘルスケア	ライフサイエンス・ツール/サービス	S&P 中型株400指数に追加
追加	6/21/2024	KKR	KKR & Co	金融	資産運用会社・資産管理銀行	S&P 1500指数に新たに追加
追加	6/21/2024	CRWD	CrowdStrike Holdings	情報技術	システム・ソフトウェア	S&P 1500指数に新たに追加
追加	6/21/2024	GGDY	GoDaddy	情報技術	インターネットサービスおよびインフラストラクチャー	S&P 中型株400指数から移行
除外	6/21/2024	RHI	Robert Half	資本財・サービス	人事・雇用サービス	S&P 小型株600指数に追加
除外	6/21/2024	CMA	Comerica	金融	都市銀行	S&P 小型株600指数に追加
除外	6/21/2024	ILMN	Illumina	ヘルスケア	ライフサイエンス・ツール/サービス	S&P 中型株400指数に追加
追加	5/7/2024	VST	Vistra	公益事業	独立系発電事業者、エネルギー販売業者	S&P 中型株400指数から移行
除外	5/7/2024	PDX	Pioneer Natural Resources	エネルギー	石油・ガス探査・開発	Exxon Mobil (XOM) により買収
追加	3/28/2024	SOLV	Solventum Corp	ヘルスケア	ヘルスケア用品	3M (MMM) からスピンオフ
追加	4/7/2024	GEV	GE Vernova	資本財・サービス	発電機器	General Electric (GE) からスピンオフ
除外	4/2/2024	VFC	V.F.	一般消費財	アパレル・アクセサリー・贅沢品	S&P 小型株600指数に移行
除外	4/2/2024	XRAY	Dentsply Sirona	ヘルスケア	ヘルスケア用品	S&P 中型株400指数に移行
追加	3/15/2024	SMCI	Super Micro Computer	情報技術	テクノロジーハードウェア、コンピュータ記憶装置、周辺機器	S&P 中型株400指数から移行
追加	3/15/2024	DECK	Deckers Outdoor	一般消費財	履物	S&P 中型株400指数から移行
除外	3/15/2024	WHR	Whirlpool	一般消費財	家庭用電気機器	S&P 中型株400指数に移行
除外	3/15/2024	ZION	Zion Bancorporation	金融	地方銀行	S&P 中型株400指数に移行
追加	12/15/2023	UBER	Uber Technologies	資本財・サービス	旅客陸上輸送	S&P 1500指数に新たに追加
追加	12/15/2023	JBL	Jabil	情報技術	電子製品製造サービス	S&P 中型株400指数から移行
追加	12/15/2023	BLDR	Builders FirstSource	資本財・サービス	建設関連製品	S&P 中型株400指数から移行
除外	12/15/2023	SEE	Sealed Air	素材	靴・プラスチック包装製品・素材	S&P 小型株600指数に追加
除外	12/15/2023	ALK	Alaska Air Group	資本財・サービス	旅客航空輸送	S&P 小型株600指数に追加
除外	12/15/2023	SEDG	SolarEdge Technologies	情報技術	半導体素材・装置	S&P 小型株600指数に追加
追加	10/17/2023	LULU	Lululemon Athletica	一般消費財	アパレル・アクセサリー・贅沢品	S&P 1500指数に新たに追加
追加	10/17/2023	HUBB	Hubbell Inc	資本財・サービス	電気部品・設備	S&P 中型株400指数から移行
除外	10/17/2023	ATVI	Activision Blizzard Inc.	コミュニケーションサービス	インタラクティブ・ホーム・エンターテインメント	Microsoft (MSFT) により買収
除外	10/17/2023	OGN	Organon & Co	ヘルスケア	医薬品	S&P 小型株600指数に移行
追加	9/15/2023	BX	Blackstone Inc	金融	資産運用会社・資産管理銀行	S&P 1500指数に新たに追加
追加	9/15/2023	ABNB	Airbnb Inc	一般消費財	ホテル・リゾート・クルーズ船	S&P 1500指数に新たに追加
除外	9/15/2023	LNC	Lincoln National	金融	生命保険、健康保険	S&P 小型株600指数に移行
除外	9/15/2023	NWL	Newell Brands	一般消費財	家庭用品・雑貨	S&P 小型株600指数に移行
追加	8/24/2023	KVUE	Kenvue Inc	生活必需品	パーソナル用品	Johnson & Johnson (JNJ) からスピンオフ
除外	8/24/2023	AAP	Advance Auto Parts	一般消費財	自動車小売り	S&P 小型株600指数に移行
追加	6/16/2023	PANW	Palo Alto Networks	情報技術	システム・ソフトウェア	S&P 1500指数に新たに追加
除外	6/16/2023	DISH	DISH Network	コミュニケーションサービス	ケーブル・衛星テレビ	S&P 小型株600指数に移行
追加	5/3/2023	AXON	Axon Enterprise	資本財・サービス	航空宇宙・防衛	S&P 中型株400指数から移行
除外	5/3/2023	FRC	First Republic Bank	金融	地方銀行	米連邦預金保険公社 (FDIC) の管理下に入った後、JP Morgan (JPM) に売却
追加	3/17/2023	FICO	Fair Isaac & Co	情報技術	アプリケーション・ソフトウェア	S&P 中型株400指数から移行
除外	3/17/2023	LUMN	Lumen Technologies	コミュニケーションサービス	代替通信事業者	S&P 中型株400指数に移行
追加	3/14/2023	BG	Bunge Limited	生活必需品	農産物	S&P 1500指数に新たに追加
除外	3/14/2023	SBNY	Signature Bank	金融	地方銀行	米連邦預金保険公社 (FDIC) の管理下に入る
追加	3/14/2023	PODD	Insulet	ヘルスケア	ヘルスケア機器	S&P 1500指数に新たに追加
除外	3/14/2023	SVB	SVB Financial Group	金融	地方銀行	米連邦預金保険公社 (FDIC) の管理下に入る
追加	1/3/2023	GEHC	GE HealthCare Technologies	ヘルスケア	ヘルスケア機器	General Electric (GE) からスピンオフ
除外	1/4/2023	VNO	Vornado Realty Trust	不動産	オフィス不動産等信託	S&P 中型株400指数に移行
追加	12/21/2022	STLD	Steel Dynamics	素材	鉄鋼	S&P 中型株400指数から移行
除外	12/21/2022	ABMD	Abiomed	ヘルスケア	ヘルスケア機器	Johnson & Johnson (JNJ) により買収
追加	10/31/2022	ACGL	Arch Capital Group Ltd	金融	輸送保険、損害保険	S&P 1500指数に新たに追加
除外	10/31/2022	TWTR	Twitter	コミュニケーションサービス	インタラクティブ・メディアおよびサービス	Elon Musk氏 が買収
追加	10/11/2022	TRGP	Targa Resources	エネルギー	石油・ガス貯蔵・輸送	S&P 中型株400指数から移行
除外	10/11/2022	NLSN	Nielsen Holdings	資本財・サービス	調査・コンサルティングサービス	Elliot Management により買収
追加	9/30/2022	PCG	PG&E Corp	公益事業	電力	S&P 1500指数に新たに追加
追加	9/30/2022	EQT	EQT Corp.	エネルギー	石油・天然ガス探査・生産	S&P 中型株400指数から移行
除外	9/30/2022	CTXS	Citrix Systems Inc	情報技術	アプリケーション・ソフトウェア	Vista Equity Partners により買収
除外	9/30/2022	DRE	Duke Realty Corp	不動産	産業用不動産投資信託	Prologis (PLD) により買収
追加	9/16/2022	CSGP	CoStar Group Inc	資本財・サービス	調査・コンサルティングサービス	S&P 1500指数に新たに追加
追加	9/16/2022	INVH	Invitation Homes Inc	不動産	住宅用不動産投資信託	S&P 1500指数に新たに追加
除外	9/16/2022	PVH	PVH Corp	一般消費財	アパレル・アクセサリー・贅沢品	S&P 中型株400指数に追加
除外	9/16/2022	PENN	PENN Entertainment Inc	不動産	カジノ・ゲーム	S&P 中型株400指数に追加
追加	6/17/2022	KDP	Keurig Dr Pepper	生活必需品	清涼飲料	S&P 1500指数に新たに追加
追加	6/17/2022	ON	ON Semiconductor	情報技術	半導体	S&P 1500指数に新たに追加
除外	6/17/2022	IPGP	IPG Photonics	情報技術	電子製品製造サービス	S&P 中型株400指数に移行
除外	6/17/2022	UA	Under Armour Cl 'C'	一般消費財	アパレル・アクセサリー・贅沢品	S&P 中型株400指数に移行
除外	6/17/2022	UAA	Under Armour Cl 'A'	一般消費財	アパレル・アクセサリー・贅沢品	S&P 中型株400指数に移行
追加	6/7/2022	VICI	VICI Properties Inc.	不動産	特化型不動産投資信託	S&P 1500指数に新たに追加
除外	6/7/2022	CERN	Cerner Corp	ヘルスケア	ヘルスケア・テクノロジー	Oracle (ORCL) により買収
追加	4/3/2022	CPT	Camden Property Trust	不動産	住宅用不動産投資信託	S&P 中型株400指数から移行
除外	4/3/2022	PBCT	People's United Financial	金融	地方銀行	M&T Bank (MTB) により買収
追加	3/1/2022	MOH	Molina Healthcare	ヘルスケア	管理健康保険	S&P 中型株400指数から移行
除外	3/1/2022	INFO	HS Markit	資本財・サービス	調査・コンサルティングサービス	S&P Global (SPGI) により買収
追加	2/1/2022	CEG	Constellation Energy	公益事業	電力	Exelon (EXC) からスピンオフ
除外	2/2/2022	GPS	Gap	一般消費財	衣料小売り	S&P 中型株400指数に移行

出所：S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス 2024 年 12 月末現在。表は図示する目的のためのものです。過去の運用実績は将来の運用成果を保証するものではありません。

2025年 1月	イベント
Wednesday, January 1, 2025	米国は祝日。銀行は休業、市場も休場。
Thursday, January 2, 2025	2025年の最初の取引日
Thursday, January 2, 2025	12月のS&Pグローバル製造業PMI（午前9時45分発表）
Thursday, January 2, 2025	11月の建設支出（午前10時発表）
Friday, January 3, 2025	12月の自動車販売台数
Friday, January 3, 2025	12月のISM製造業景況指数（午前10時発表）
Monday, January 6, 2025	12月のS&Pグローバルサービス業PMI（午前9時45分発表）
Monday, January 6, 2025	11月の製造業受注（午前10時発表）
Tuesday, January 7, 2025	11月の貿易収支
Tuesday, January 7, 2025	12月のISM非製造業景況指数（午前10時発表）
Tuesday, January 7, 2025	11月のJOLTS（Job Openings and Labor Turnover Survey、求人労働移動調査、午前10時発表）
Wednesday, January 8, 2025	12月のADP 全米雇用統計
Wednesday, January 8, 2025	米連邦公開市場委員会（FOMC）議事録（午後2時発表）
Thursday, January 9, 2025	亡くなったジミー・カーター元米大統領を追悼して、米国市場は休場
Thursday, January 9, 2025	11月の卸売在庫（午前10時発表）
Friday, January 10, 2025	12月の雇用統計
Friday, January 10, 2025	1月のミシガン大学消費者信頼感指数速報値（午前10時発表）
Tuesday, January 14, 2025	12月の卸売物価指数
Wednesday, January 15, 2025	12月の消費者物価指数
Wednesday, January 15, 2025	地区連銀経済報告（午後2時発表）
Thursday, January 16, 2025	12月の小売売上高
Thursday, January 16, 2025	12月の輸出・輸入物価統計
Thursday, January 16, 2025	1月のNAHB住宅市場指数（午前10時発表）
Thursday, January 16, 2025	11月の企業在庫（午前10時発表）
Friday, January 17, 2025	12月の住宅着工件数と建設許可件数
Friday, January 17, 2025	12月の鉱工業生産
Monday, January 20, 2025	米国は祝日。市場は休業、銀行も休業。
Monday, January 20, 2025	米大統領の就任式
Wednesday, January 22, 2025	12月の景気先行指数（午前10時発表）
Friday, January 24, 2025	1月のS&Pグローバル総合PMI速報値（午前9時45分発表）
Friday, January 24, 2025	12月の中古住宅販売件数（午前10時発表）
Friday, January 24, 2025	1月のミシガン大学消費者信頼感指数確報値（午前10時発表）
Monday, January 27, 2025	12月の新築住宅販売件数（午前10時発表）
Tuesday, January 28, 2025	2日間のFOMC会合がスタート
Tuesday, January 28, 2025	12月の耐久財受注
Tuesday, January 28, 2025	11月のS&Pコアロジック・ケース・シラー住宅価格指数
Tuesday, January 28, 2025	11月のFHFA住宅価格指数
Tuesday, January 28, 2025	1月のコンファレンスボード消費者信頼感指数（午前10時発表）
Wednesday, January 29, 2025	12月の財の貿易収支
Wednesday, January 29, 2025	12月の小売在庫
Wednesday, January 29, 2025	12月の卸売在庫
Wednesday, January 29, 2025	FOMC声明（午後2時発表）
Wednesday, January 29, 2025	FRB議長の記者会見（午後2時30分）
Thursday, January 30, 2025	2024年第4四半期の国内総生産（GDP）成長率速報値
Thursday, January 30, 2025	12月の中古住宅販売仮契約指数（午前10時発表）
Friday, January 31, 2025	12月の個人所得、個人消費支出
Friday, January 31, 2025	2024年第4四半期の雇用コスト指数
毎水曜日	週間住宅ローン申請指数（祝日調整済み）
毎水曜日	EIA週間石油在庫統計（午前10時30分発表、祝日調整済み）
毎木曜日	週間新規失業保険申請件数

出所：S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス 2024年12月末現在。表は図示する目的のためだけのものです。過去の運用実績は将来の運用成果を保証するものではありません。

免責事項

著作権© 2025年 S&Pグローバルの一部門であるS&Pダウ・ジョーンズ・インデックスLLC。不許複製、Standard & Poor's、S&P、S&P 500、は、S&Pの一部門であるスタンダード・アンド・プアーズ・フィナンシャル・サービシーズLLC（以下「S&P」）の登録商標です。LATIXX、MEXICO TITANS及びSPCIIは、S & Pグローバル部門であるスタンダード・アンド・プアーズ・フィナンシャル・サービシーズLLC（以下「S&P」）の商標です。「ダウ・ジョーンズ」は、ダウ・ジョーンズ・トレードマーク・ホールディングスLLC（以下「ダウ・ジョーンズ」）の登録商標です。商標は、S&Pダウ・ジョーンズ・インデックスLLCにライセンス供与されています。本資料の全体または一部の再配布、複製、そして（または）複写を画面による承諾なしに行うことを禁じます。本資料は、S&Pダウ・ジョーンズ・インデックスLLC、ダウ・ジョーンズ、S&Pまたはそれぞれの関連会社（これらを合わせて「S&Pダウ・ジョーンズ・インデックス」という）が必要なライセンスを持たない地域におけるサービスの提供を行うものではありません。S&Pダウ・ジョーンズ・インデックスLLCが提供する全ての情報は、個人とは無関係であり、いかなる個人、事業体または集団のニーズに合わせて調整したものではありません。S&Pダウ・ジョーンズ・インデックスは、その指数を第三者にライセンス供与することに関連した報酬を受けています。指数の過去のパフォーマンスは将来の結果を保証するものではありません。

指数に直接投資することはできません。指数が表すアセット・クラスへのエクスポージャーは、指数に基づく投資可能商品を通して得られます。S&Pダウ・ジョーンズ・インデックスは、第三者が提供し、S&Pダウ・ジョーンズ・インデックスの指数のリターンに基づく投資リターンを提供することを旨とする投資ファンド、或いはその他のビークルを提供、推奨、販売、宣伝、或いは運用することはありません。S&Pダウ・ジョーンズ・インデックスは、指数に基づく投資商品が指数のパフォーマンスに正確に連動し、プラスの投資リターンを上げることについて保証しません。S&Pダウ・ジョーンズ・インデックスLLCは投資顧問会社ではなく、S&Pダウ・ジョーンズ・インデックスは、そうした投資ファンド或いはその他の投資ビークルに投資する適否に関して表明することはありません。そうした投資ファンド或いはその他の投資ビークルへの投資決定は、本資料で言及されたいかなる部分も信頼して実行されるべきではありません。そうしたファンド或いはその他のビークルに投資しようとする投資家に対して、投資ファンド或いはその他のビークルの発行体またはその代理人が作成する目論見書または類似文書に記載されているように、そうしたファンドへの投資に伴うリスクを注意深く検討した上で投資することを助言します。指数への証券の組入は、S&Pダウ・ジョーンズ・インデックスによるその証券の買い、売り、または保有の推奨ではなく、また投資助言でもありません。S&Pの米国のベンチマーク指数及びダウ・ジョーンズの米国のベンチマーク指数の終値は、S&Pダウ・ジョーンズ・インデックスが、指数構成銘柄の各主要取引所が設定する終値に基づいて計算します。終値はS&Pダウ・ジョーンズ・インデックスがサードパーティ・ベンダーの1社から受け取り、別のベンダーから届く価格と比較することにより検証されます。各ベンダーは終値を主要取引所から受け取ります。日中の実時間価格は、2次検証を経ずに同様に計算されます。

これらの資料は、信頼できると考えられる情報源から一般に公衆が入手できる情報に基づき、情報提供のみを目的として作成されたものです。本資料に記載されるいかなる内容（指数データ、格付、クレジット関連の分析とデータ、モデル、ソフトウェア、或いはその他のアプリケーションまたはそれからの出力）も他のいかなる部分（以下「内容」という）も、S&Pダウ・ジョーンズ・インデックスによる事前の書面による承認なくして、いかなる形式とイかなる手段によっても、改変、リバースエンジニアリング、再製作または配布、或いはデータベースまたは検索システムへの保存を行うことはできません。内容を、不法な或いは未認可の目的に使用してはいけません。S&Pダウ・ジョーンズ・インデックス及びいかなるサードパーティ・データ・プロバイダー及びライセンサー（合わせて「S&Pダウ・ジョーンズ・インデックス当事者」という）も、内容の正確性、完全性、適時性或いは利用可能性を保証しません。S&Pダウ・ジョーンズ・インデックス当事者は、いかなる過誤、遺漏についても、原因の如何を問わず、内容を用いて得られた結果について責任を負いません。内容は、「現状」ベースで提供されています。S&Pダウ・ジョーンズ・インデックス当事者は、特定の目的または利用に対する販売可能性または適合性についてのいかなる保証も、バグやソフトウェアのエラーまたは欠陥がないこと、内容の機能が中断されないこと、或いは内容が何らかのソフトウェアまたはハードウェア構成により動作することの保証も、以上を含みそれに限定されない、あらゆる明示的または暗示的保証も拒否します。S&Pダウ・ジョーンズ・インデックス当事者は、いかなる場合も、いかなる当事者に対しても、内容の使用に関連して発生する、いかなる直接的、間接的、偶発的、典型的、補償的、懲罰的、特殊な或いは結果的な損害、費用、経費、法的費用、或いは損失に対しても（逸失収入または逸失利益、及び機会費用を含みそれに限定されず）、たとえ損害の可能性について事前に通告を受けていようと、責任を負いません。

格付けやリサーチ、バリュエーションなどのクレジット関連及びその他の分析は通常、スタンダード・アンド・プアーズ・フィナンシャル・サービシーズLLCやキャピタルIQインク（それらに限定されず）などのS&Pダウ・ジョーンズ・インデックスの関連会社が提供します。そうした分析や内容の記述は、表明された日付時点における意見の記述であり、事実を記述しているものではありません。いかなる意見、分析及び格付確認決定も、いかなる証券を購入、保有、または売却するか、或いは投資決定を行うことの推奨ではなく、いかなる証券の適合性を示すものではありません。S&Pダウ・ジョーンズ・インデックスは、いかなる様式または形式であれ公表後に内容を更新する義務を負いません。投資やその他のビジネス上の意思決定を行う際に、内容に頼るべきではなく、内容はユーザーやその経営者、従業員、アドバイザー、及び（または）顧客などのスキルや判断、経験の代替にはなりません。S&Pダウ・ジョーンズ・インデックスLLCは、受託者または投資アドバイザーとして行動することはありません。S&Pダウ・ジョーンズ・インデックスは信頼できると考える情報源から情報を入手しますが、S&Pダウ・ジョーンズ・インデックスは、入手する情報の監査を行わず、デューデリジェンスまたは独立した検証の義務を負うこともありません。

格付け機関が、ある管轄区においてある特定の規制目的のために別の管轄区で発行された格付けを承認することを規制当局が許す限りは、S&Pダウ・ジョーンズ・インデックスはいつでもその裁量で、そうした承認を割当て、取り下げ、或いは停止する権利を留保します。S&Pレーティングズ・サービスを含むS&Pダウ・ジョーンズ・インデックスは、承認の割当て、取り下げ、または停止に起因するいかなる義務も、またそのために被ったと主張されるいかなる損害の賠償責任も拒否します。

S&Pダウ・ジョーンズ・インデックスの関連会社は、格付け及び特定のクレジットに関連する分析に対して、通常は発行体または証券の引受会社または債務者から報酬その他の経済的便益を受ける場合があります。係るS&Pダウ・ジョーンズ・インデックスの関連会社は、その意見と分析を公表する権利を留保します。S&Pレーティングズ・サービスから公開される格付けや分析は、そのウェブサイトwww.standardandpoors.com（無料）、www.ratingsdirect.com及びwww.globalcreditportal.com（有料）から入手可能であり、S&Pレーティングズ・サービスの出版物や第三者再配布業者などを通じたその他の手段でも配布される場合があります。弊社の格付け利用料に関する詳しい情報は、www.standardandpoors.com/usratingsfeesから入手できます。

S&Pダウ・ジョーンズ・インデックスは、各事業部の活動の独立性と客観性を維持するために、それぞれの活動を他から隔離しています。その結果、S&Pダウ・ジョーンズ・インデックスの一部の事業部は、他の事業部では入手できない情報を保有する可能性があります。S&Pダウ・ジョーンズ・インデックスは、各分析プロセスの中で受け取った非公開情報の機密を守る方針及び手順を確立しています。

さらに、S&Pダウ・ジョーンズ・インデックスは、広範なサービスを、証券の発行体、投資顧問会社、証券会社、投資銀行、その他の金融機関及び金融仲介業者など多くの組織に提供しています。したがって、これらの組織から報酬その他の経済的便益を受ける可能性があります。これらの組織には、証券やサービスを推奨し、格付け評価し、モデルポートフォリオに組入れ、評価するか別の対応を行う組織が含まれます。

グローバル業種分類基準（GICS®）は、スタンダード・アンド・プアーズ及びMSCIによって開発され、両社の独占的所有物であり登録商標です。MSCI、スタンダード・アンド・プアーズ及びGICS業種分類の編纂、計算、作成に関わるその他の当事者のいずれも、係るデータの保証や表現（またはその使用により得られた結果）に関していかなる表明や示唆も行っておらず、そうしたすべての当事者は明示的に、特定の目的に照らした係るデータの独自性、正確性、完全性、販売可能性、適合性に関するいかなる保証も拒否します。前述の内容に制限を加えることなく、いかなる場合もMSCI、スタンダード・アンド・プアーズ及びその関連会社及びGICS業種分類の作成または編纂に関わるサードパーティは、いかなる直接的、間接的、特殊的、懲罰的、結果的、その他の損害（逸失利益を含む）について、例え損害の可能性について事前に通告を受けていようとも、責任を有していません。

このレポートは、英文原本から参照用の目的でS&Pダウ・ジョーンズ・インデックス（SPDJ）が作成したものです。SPDJは、翻訳が正確かつ完全であるよう努めましたが、その正確性ないし完全性につきこれを保証し表明するものではありません。英文原本についてはこちらをご参照ください。https://www.spglobal.com/spdji/en/documents/performance-reports/sp-global-equity-indices-monthly-update.pdf?force_download=true